

# 多文化共生実践モデル支援事業 報告書

平成 22 年 3 月

愛知県

## 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 第1章 事業実施概要         | 1  |
| 第1節 事業概要           | 1  |
| (1)目的              | 1  |
| (2)内容              | 1  |
| (3)実施地域            | 1  |
| (4)実施期間            | 1  |
| 第2節 調査の視点          | 1  |
| 第3節 調査実施概要         | 2  |
| (1)実施体制            | 2  |
| (2)実施期間            | 2  |
| (3)調査目的            | 2  |
| (4)調査方法            | 2  |
| (5)回答者数            | 3  |
| 第2章 調査地の概要と多文化共生施策 | 4  |
| 第1節 犬山市            | 5  |
| (1)犬山市の概要          | 5  |
| (2)犬山市の多文化共生施策     | 5  |
| (3)調査地の概要          | 7  |
| 第2節 刈谷市            | 7  |
| (1)刈谷市の概要          | 7  |
| (2)刈谷市の多文化共生施策     | 8  |
| (3)調査地の概要          | 8  |
| 第3節 豊橋市            | 9  |
| (1)豊橋市の概要          | 9  |
| (2)豊橋市の多文化共生施策     | 9  |
| (3)調査地の概要          | 11 |
| 第3章 調査地における住民の実態   | 12 |
| 第1節 回答者の属性（外国人住民）  | 12 |
| (1)性別              | 12 |
| (2)年齢              | 12 |
| (3)出身国             | 13 |
| (4)在留資格            | 13 |
| (5)居住年数            | 14 |
| (6)職業              | 14 |

|                        |    |
|------------------------|----|
| 第2節 回答者の属性（日本人住民）      | 15 |
| (1)性別                  | 15 |
| (2)年齢                  | 15 |
| (3)居住年数                | 16 |
| (4)職業                  | 16 |
| 第4章 外国人住民の情報入手方法について   | 17 |
| 第1節 調査結果の概要            | 17 |
| (1)広報紙                 | 17 |
| (2)市のホームページ            | 18 |
| (3)国際交流協会のニュースレター      | 20 |
| (4)生活ガイドブック            | 21 |
| (5)その他の情報入手方法          | 22 |
| 第2節 分析と考察              | 26 |
| 第3節 今後の取り組み提案          | 27 |
| 第5章 外国人住民・日本人住民の交流について | 29 |
| 第1節 調査結果の概要            | 29 |
| (1)日本人とのつきあい（外国人）      | 29 |
| (2)相談相手（外国人）           | 32 |
| (3)外国人とのつきあい（日本人）      | 35 |
| 第2節 分析と考察              | 37 |
| (1)外国人住民・日本人住民のつきあい    | 37 |
| (2)外国人同士のつきあい          | 38 |
| 第3節 今後の取り組み提案          | 38 |
| 第6章 外国人住民の地域参加について     | 40 |
| 第1節 調査結果の概要            | 40 |
| (1)自治会への参加             | 40 |
| (2)地域課題                | 44 |
| 第2節 分析と考察              | 49 |
| (1)外国人の地域参加について        | 49 |
| (2)地域課題について            | 49 |
| 第3節 今後の取り組み提案          | 50 |
| 第7章 多文化共生に関する取り組みについて  | 51 |
| 第1節 調査結果の概要            | 51 |
| (1)地域での取り組み            | 51 |
| (2)日本人住民への多文化共生施策の浸透   | 57 |
| (3)多文化共生施策について         | 58 |

|                     |    |
|---------------------|----|
| 第2節 分析と考察           | 60 |
| 第3節 今後の取り組み提案       | 61 |
| 第8章 調査結果報告          | 62 |
| (1)犬山市での調査報告        | 62 |
| (2)豊橋市での調査報告        | 63 |
| 第9章 総括              | 68 |
| 第1節 調査を終えて          | 68 |
| 第2節 地域分類別多文化共生施策の提案 | 68 |
| 第3節 今後の課題           | 77 |
| コラム 調査員の声           | 78 |
| ■参考文献               | 85 |
| ＜図表リスト＞             | 85 |
| ＜参考資料＞              | 86 |

## 第 1 章 事業実施概要

### 第 1 節 事業概要

---

#### (1)目的

国籍や民族などのちがいににかかわらずすべての県民が安心して暮らせることはもとより、その能力を十分発揮して活躍することができ、さらにその多様な価値観を地域の活力として生かすことができる多文化共生社会づくりを進めることは極めて重要な課題であり、その推進には、日本人と外国人の相互理解や外国人の社会活動の参加の促進が不可欠である。

そこで、本事業では、日本人と外国人の相互理解や外国人の社会活動の参加の現状等を調査するとともに、地元自治会等の協力を得て多文化共生社会づくりに向けた方策を検討する。

#### (2)内容

- ① 県内 3 箇所における、日本人と外国人の相互理解及び外国人の社会活動の参加の現状等の調査
  - ・ 日本人住民と外国人住民を対象としたアンケート及びインタビュー調査
  - ・ 自治体担当者を対象とした多文化共生施策に関する聞き取り調査
- ② ①の調査地域における相互理解及び社会参画の促進に向けた取り組みの実施
- ③ ①②の結果を踏まえた、今後の多文化共生施策の提案

#### (3)実施地域

**犬山市** 県営 A 住宅

**刈谷市** 北部、南部、中部

**豊橋市** 市営 B 住宅

#### (4)実施期間

平成 21 年 8 月 3 日～平成 22 年 3 月 31 日

### 第 2 節 調査の視点

---

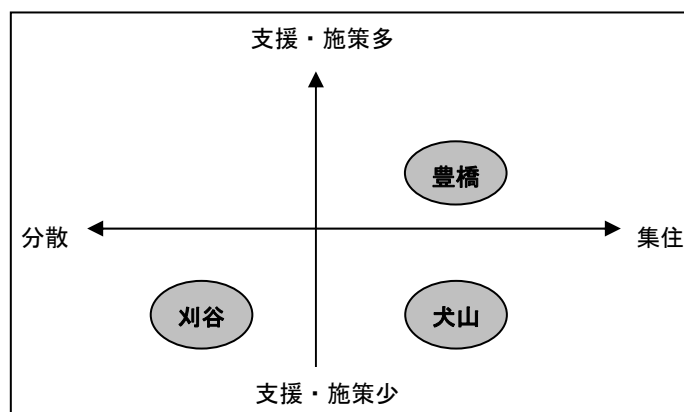
本調査では、多文化共生施策の多少と外国人住民の居住形態に着目し、愛知県内の市町村を次の 4 つに分類した。

- ①支援・施策多／集住地区あり
- ②支援・施策少／集住地区あり
- ③支援・施策多／散在
- ④支援・施策少／散在

そして、尾張、西三河、東三河の各地域から上記分類に該当する 3 都市を選び、本事業の実施地域とした。

図表 1 地域分類と実施地域

犬山市…②支援・施策少／集住地区あり  
刈谷市…④支援・施策少／散在  
豊橋市…①支援・施策多／集住地区あり



### 第 3 節 調査実施概要

#### (1)実施体制

本事業は国の緊急雇用創出事業の一環として行うものであることから、調査開始にあたって新規に 12 名（うち 8 名は外国人）を調査員として雇用し、事前研修の後、3 つのグループ（犬山市・刈谷市・豊橋市）に分け、調査及び集計・分析等を行った。

#### (2)実施期間

平成 21 年 10 月 20 日～平成 22 年 2 月 28 日

#### (3)調査目的

本調査では、主に外国人住民による生活情報の入手方法や日常生活における日本人住民の交流機会、地域課題とその認識度合い等を変数として、日本人住民と外国人住民の相互理解及び外国人住民の社会活動への参加状況を明らかにする。

あわせて、各自治体の多文化共生施策について調べ、それに対する地域住民の関心やニーズをもとに今後の取り組みの提案をする。

#### (4)調査方法

##### ①アンケート調査

＜犬山市・豊橋市＞

犬山市・豊橋市では、外国人住民が特に多い団地を 1 つずつ選び、全戸を戸別訪問し、調

査員が対象者に調査票を配票して、記入後その場で回収した（一部、後日回収とした）。なお、外国人住民には回答者の母語に合わせて、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語のいずれかに翻訳した調査票、または日本語にルビを振ったものを使用した。

＜刈谷市＞

住民基本台帳（外国人については外国人登録原票）をもとに、北部、南部、中部に住所地のある住民を無作為抽出し、戸別訪問によって配票、その場で回収した（一部、後日回収または返送とした）。

## ②インタビュー調査

アンケート調査の回答者のうち、インタビュー調査への協力が得られた人を対象に半構造型インタビューを行った。外国人住民へのインタビューは、一部日本語が堪能な人を除いて母語による通訳を介した。

### (5)回答者数

#### ①アンケート調査

図表 2 回収率

| 種別  | 訪問戸数 | 空き室・不在 | 配票数 | 回収数 | 回収率   |
|-----|------|--------|-----|-----|-------|
| 日本人 | 1768 | 794    | 672 | 211 | 31.4% |
| 外国人 |      |        | 302 | 208 | 68.9% |

## ②インタビュー調査

日本人 8人

外国人 39人

図表 3 地域別アンケート及びインタビュー件数

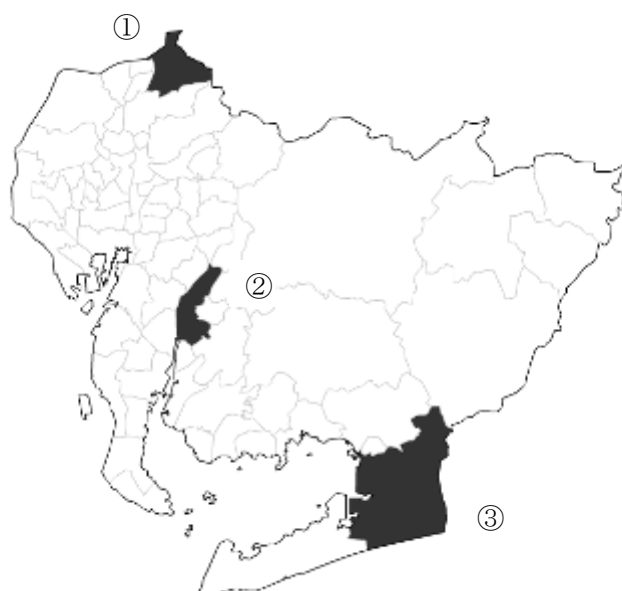
|        |     | 犬山市 | 刈谷市 | 豊橋市 | 計   |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| アンケート  | 日本人 | 66  | 62  | 83  | 211 |
|        | 外国人 | 68  | 65  | 75  | 208 |
| インタビュー | 日本人 | 2   | 4   | 2   | 8   |
|        | 外国人 | 13  | 7   | 19  | 39  |

## 第2章 調査地の概要と多文化共生施策

本章では、調査対象とした地域の概要および多文化共生社会づくりに向けた自治体施策や NPO 等の取り組みをまとめた。はじめに、各市の人口や近年の外国人登録者数の推移とその特徴をあげた。施策とその担い手については、各市の担当者への聞き取りを通じて一覧にまとめるとともにその特徴を示した。最後に、調査地概要として国籍別世帯数等のデータと主な取り組みをあげた。

調査地3市の位置と人口データを以下にまとめる。

図表 4 調査地3市の位置と人口



※2008 年度末現在

|       | 地域  | 総人口         | 外国人人口   | 割合   | 国籍（1→5 位）＊ |
|-------|-----|-------------|---------|------|------------|
| ①犬山市  | 尾張  | 7 万 5,000 人 | 2,000 人 | 2.6% | フィ、ペ、中、ブ、韓 |
| ②刈谷市  | 西三河 | 15 万人       | 5,000 人 | 3.4% | ブ、中、フィ、韓、ペ |
| ③豊橋市  | 東三河 | 38 万人       | 2 万人    | 5.2% | ブ、フィ、韓、中、ペ |
| 愛知県全体 |     | 740 万人      | 23 万人   | 3.0% | ブ、中、韓、フィ、ペ |

＊フィ＝フィリピン、ペ＝ペルー、中＝中国、ブ＝ブラジル、韓＝韓国・朝鮮、ベ＝ベトナム

## 第 1 節 犬山市

---

### (1) 犬山市の概要

総人口：75,864 人

外国人登録者数：2,006 人（総人口比 2.6%）

上位 5 か国：①フィリピン、②ペルー、③中国、④ブラジル、⑤韓国・朝鮮

（2008 年末現在、犬山市統計・愛知県調べ）

犬山市は、県内最北端（尾張地域）に位置する総人口約 7 万 5,000 人のまちである。南米日系人への門戸が大きく開かれることとなった 1990 年の「出入国管理及び難民認定法」（以下、「入管法」と略す）改正以来、外国人登録者数は年々増加し続け、2008 年末の時点では 2,006 人（総人口比 2.6%）と全国平均（1.7%）を上回っている。5 年前の 2003 年末に比べて 600 余人増えており、そのうちフィリピン人が 375 人と半数以上を占めているのが特徴である。

外国人登録者数を国籍別にみると、もっとも多いのはフィリピンで 537 人（26.8%）、続いてペルー 420 人（20.1%）、中国 304 人（15.2%）、ブラジル 277 人（13.8%）となり、上位 4 か国で全国籍の約 6 割を占める。隣接する小牧市や春日井市、扶桑町、大口町、さらに県境にある岐阜県各務原市、可児市、多治見市、坂祝町などにも多くの外国人登録者があり、この地域一帯を生活圏としている。

### (2) 犬山市の多文化共生施策

犬山市では、担当部署である地域活動推進課及び市の外郭団体である犬山国際交流協会を中心として、地域の多文化共生社会づくりに取り組んでいる。また、地域で活動する NPO も日本語教室や子どもを対象とした放課後学習支援を実施するなど重要な役割を果たしている。これらの取り組みを 2006 年に総務省がまとめた『多文化共生の推進に関する研究会報告書』にならい整理したものが図表 5 である。

この表から、犬山市では「生活支援」と「多文化共生の地域づくり」に関する取り組みに力を入れていることがわかる。これらにおいて、犬山市では、市の職員が国際交流協会の業務を兼務しており、必要に応じて両者の間で事業を分担したり、連携をとったりしながら進められている。また、愛知県が行っている「多文化ソーシャルワーカー養成講座」の修了者（日本語・ポルトガル語バイリンガル）を市が雇用し、通訳・翻訳や相談業務、そして協会事業の企画・実施にも一部携わっている。なお、地域の NPO にもこの多文化ソーシャルワーカーが 1 名おり、活動をけん引している。

このように、市と協会と多文化ソーシャルワーカーが協力し合って多文化共生施策に取り組み、地域のニーズに応じた施策を展開しているのが犬山市の特徴のひとつである。

図表 5 犬山市の多文化共生施策一覧

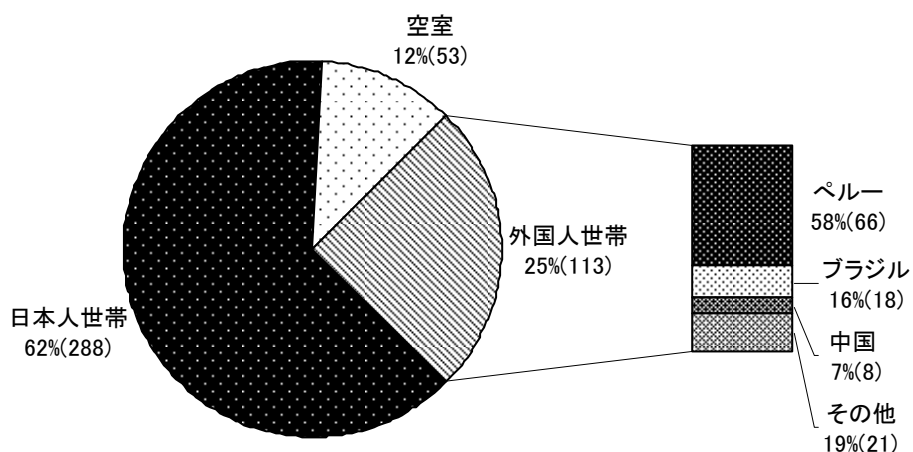
|                | 市                                                                                      | 国際交流協会                                                                        | NPO                | 外国人自助組織*   |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------|
| コミュニケーション支援    | 外国人相談窓口設置／英語版 HP 開設                                                                    | 多言語版ニュースレター発行／外国人相談窓口設置／通訳ボランティア研修開催／行政文書翻訳／日本語教室開催                           | 日本語教室開催            |            |
| 生活支援           | 仮住居提供／語学相談員配置／海外の交流都市との教育交流／ワンストップ相談／外国人ママの子育て支援／多言語版母子手帳配布／多言語版予防接種案内／多文化ソーシャルワーカーの雇用 | 相談窓口での不動産業者への通訳・翻訳補助／外国人求職者向け就職面接講座・面接時のスーツ貸出／防災マップ作成／緊急支援（困窮者への食糧・生活必需品配布）   | 放課後学習支援／国際理解教育出前講座 |            |
| 多文化共生の地域づくり    | 外国人住民との市民懇談会開催／広報を通じて外国人住民の現状を紹介                                                       | 外国語講座開催／多文化共生に関する講演会開催／各種交流イベント開催／外国人コミュニティリタ－育成／外国人自助組織のサポート／日本の制度周知に関する講座開催 |                    | 国際交流イベント開催 |
| 多文化共生施策の推進体制整備 | 多文化共生担当部署設置（地域活動推進課交流担当）／多文化共生推進委員会設置                                                  |                                                                               |                    |            |

\* 外国人住民が中心となって組織する支援団体

### (3)調査地の概要

今回調査地を選んだ県営A住宅は、市内で外国人登録者数の多いA地区内にあり、総戸数 454 戸（入居戸数 401 戸）のうち 113 戸が外国人世帯となっている（2010 年 3 月 1 日現在、愛知県調べ）。外国人世帯のうちペルーが 66 世帯(58%)と半数以上を占めており、次いでブラジルが 18 世帯(16%)となっている。

図表 6 県営A住宅の国籍別入居世帯割合



ここでは、公共施設において NPO が外国につながる子どもたちを対象とした放課後学習支援を行ったり、外国人自助組織による交流イベントが開かれたりしている。また自治会では独自に掲示板や回覧版の一部をスペイン語に翻訳したり、外国人住民も自治会の駐車場委員を担うなど草の根の取り組みも行われている。

## 第 2 節 刈谷市

### (1)刈谷市の概要

総人口：145,346 人

外国人登録者数：4,929 人（総人口比 3.4%）

上位 5 か国：①ブラジル、②中国、③フィリピン、④韓国・朝鮮、⑤ベトナム

（2008 年末現在、愛知県調べ）

刈谷市は、愛知県のほぼ中央（西三河地域）に位置し、自動車関連産業が盛んな総人口約 14 万 5,000 人のまちである。入管法改正以来、外国人登録者数は増え続け、2008 年末には約 4,929 人（総人口比 3.4%）と全国平均の 2 倍になった。最近の 4 年間（2004 年－2008 年）だけで約 1,600 人も増えており、そのうちの 8 割以上が中国（634 人増）、ブラジル（411

人増)、フィリピン(293人増)の3カ国から成る。現在の外国人登録者数を国籍別にみると、もっとも多いのはブラジルで、全体の4割近くを占め、中国(23.0%)、フィリピン(19.5%)、韓国・朝鮮(7.3%)と続く。

また、隣接する豊田市、知立市、安城市、高浜市、豊明市、大府市、東郷町、東浦町なども同様に自動車関連のメーカーや工場が多く、それらに従事する外国人住民が生活圏を共有している。

## (2)刈谷市の多文化共生施策

刈谷市では、担当部署である市民協働課及び市の外郭団体である刈谷市国際交流協会が多文化共生施策の担い手となっている。

刈谷市では、全体的に多文化共生社会づくりに向けた施策が少なく、その担い手は自治体と国際交流協会以外に確認できなかった。しかし、「研修生」「技能実習生」も多いことから、実際には受入れ企業が担い手となり生活に必要なさまざまなサポートが行われていると推測される。また市内でも比較的集住傾向が見られる地域においては、外国籍児童生徒の通う学校も大きな役割を担っている。

図表 7 刈谷市の多文化共生施策一覧

|                | 市                             | 国際交流協会          | NPO | 外国人自助組織 |
|----------------|-------------------------------|-----------------|-----|---------|
| コミュニケーション支援    | 多言語版生活ガイドブック発行／英語版HP開設／常駐通訳配置 | 日本語教室開催         |     |         |
| 生活支援           |                               | 外国人向け防災体験イベント開催 |     |         |
| 多文化共生の地域づくり    | 啓発セミナー開催                      | 国際交流教室開催        |     |         |
| 多文化共生施策の推進体制整備 |                               |                 |     |         |

## (3)調査地の概要

刈谷市は、犬山市・豊橋市とは異なり、市内全域に外国人住民が分散している。そのため本調査では、北部・中部・南部の各地域を対象地域とした。それらの特徴として、大学のある北部には留学生が多く、中部は研修生・技能実習生等を雇用する企業の社員寮が立ち並び、そして南部にはさまざまな在留資格をもつ外国人が公営住宅に暮らしている。市内に外国人自助組織を含め多文化共生分野で活動するNPO／NGOはほとんどなく、本調査で確認できたのは国際交流協会に登録するボランティアグループが開いている日本語教室のみであった。

### 第 3 節 豊橋市

---

#### (1) 豊橋市の概要

総人口：385,478 人

外国人登録者数：20,138 人（総人口比 5.2%）

上位 5 か国：①ブラジル、②フィリピン、③韓国・朝鮮、④中国、⑤ペルー

（2008 年末現在、愛知県調べ）

豊橋市は、県内最東部（東三河地域）に位置する総人口 38 万人余の中核市である。他の 2 市と同様に、入管法改正以来外国人登録者数は年々増加しており、2008 年末の時点では約 20,138 人（総人口比 5.2%）と、全国平均の 3 倍以上になった。2005 年末からの 3 年間だけでも 1,500 人余増となっている。外国人登録者数を国籍別にみるともっとも多いのはブラジル(12,439 人)で全体の 6 割以上を占め、続くフィリピン(9.2%)、韓国・朝鮮(9.0%)、中国(8.3%)と比べて突出しているのがわかる。1 市町村におけるブラジル人の数は、静岡県浜松市に次ぎ全国で 2 番目に多い。

また、隣接する豊川市、静岡県湖西市などにも多くの外国人登録者がおり、県境を越えて住居と職場を異にする外国人住民も少なくない。

#### (2) 豊橋市の多文化共生施策

豊橋市では、担当部署である多文化共生・国際課及び市の外郭団体である財団法人豊橋市国際交流協会、そして日本人・外国人住民によって組織される NPO が数多く存在し、地域の多文化共生社会づくりに貢献している。

図表 8 から、豊橋市では自治体が主体的に多文化共生社会の実現に向けてさまざまな取り組みを行っていることがわかる。また、国際交流協会や NPO も重要な担い手であり、ときに自治体と連携・協働をはかりつつ取り組みを進めている。

他の 2 市と比較すると、施策の量・バランス、担い手の数といった面で、多文化共生社会づくりに向けて先進的な取り組みがなされている地域であると言える。

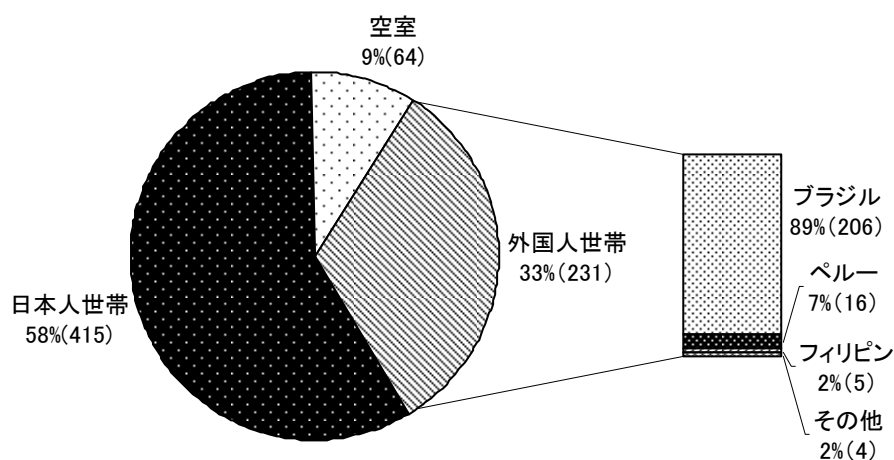
図表 8 豊橋市の多文化共生施策一覧

|                | 市                                                                                                                                             | 国際交流協会                                                      | NPO                                | 外国人自助組織                 |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|
| コミュニケーション支援    | HPの多言語化／多言語版広報発行／外国人相談窓口設置／外国人相談員対象スタッフ研修開催／多文化共生推進員配置／外国人情報窓口設置                                                                              | 多言語版ニュースレター発行／日常生活相談窓口設置／日本語教室開催／日本語ボランティア養成講座開催            | 日本語教室開催                            |                         |
| 生活支援           | 登録バリンガル制度実施／不就学実態調査実施／外国人向け学校制度説明会開催／高校進学・進路ガイダンス開催／青少年向け就労体験事業実施／保育園への通訳派遣／フリースクール実施／姉妹都市との人的交流／ワンストップサービス設置／外国人学校での交通安全講習会開催／留学生向け生活・就職支援実施 | 外国人児童アフタースクール実施／外国人児童サポート養成講座開催／外国人就労担当者セミナー開催／外国人向け税務相談会開催 | 放課後学習支援／外国人学校支援事業実施／外国人青少年就労支援事業実施 | 日系人就労準備研修実施／出張ブラジル領事館開催 |
| 多文化共生の地域づくり    | 人権啓発シンポジウム開催／公教育における日本文化講座開催／多文化共生地域リーダー養成講座開催／国際図書館設置／インターナショナルフェスティバル開催                                                                     | ポルトガル語学習用FM放送／外国人住民による国際理解教育実施／国際協力市民サロン開設／日本語スピーチコンテスト開催   |                                    | ブラジルデー開催                |
| 多文化共生施策の推進体制整備 | 多文化共生・国際課設置／多文化共生推進計画策定／外国人学校との連絡体制構築／外国人市民意識調査実施／多文化共生モデル地区指定／国への制度改革等要望                                                                     |                                                             |                                    |                         |

### (3)調査地の概要

今回調査地に選んだ市営B住宅は、C区とD区の2つの自治会からなり、合わせて646世帯1,755人が暮らす。そのうち、231世帯(35.8%)745人(42.5%)が外国人である(2010年3月1日現在, 豊橋市多文化共生・国際課調べ)。外国人住民のうち大多数がブラジル国籍で、実に9割近くを占める。

図表 9 市営B住宅の国籍別入居世帯割合



ここでは、近くの市民館で毎週土曜日の午前、NPOにより外国人児童生徒を対象とした日本語教室が開かれている。また自治会でも外国人住民の協力を得て、団地の敷地内にある看板や掲示板、回覧版等にポルトガル語の併記がみられる。一方で、市内の他地域に見られるような外国人自助組織の活動は確認されなかった。

### 第3章 調査地における住民の実態

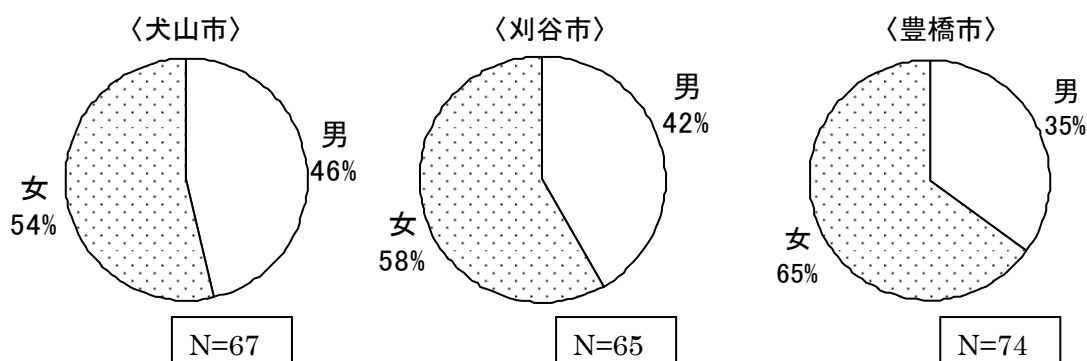
#### 第1節 回答者の属性（外国人住民）

性別は、いずれの調査地も女性が過半数を超えている。年齢は30代～40代が約半数を占める。出身国は、犬山市はペルー、豊橋市はブラジルに偏りがあるが、刈谷市はブラジル、中国、フィリピンがほぼ同程度であった。在留資格について、いずれも「永住者」の割合が高く、加えて刈谷市では「定住者」と「研修」がそれぞれ約2割であった。居住年数は、犬山市・豊橋市では10年以上居住している人がほぼ半数であるのに対し、刈谷市は3年未満が約半数を占める。職業は、いずれの調査地でも「生産労務職」がもっとも多く、加えて刈谷市は「専門・技術職」が多い。

##### (1)性別

どの調査地も回答者の約5割～6割が女性である。

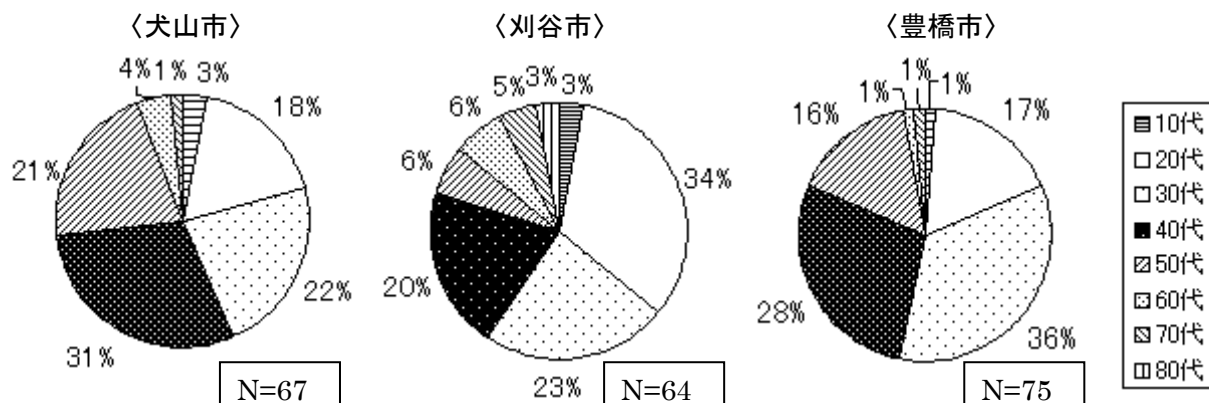
図表 10 回答者(外国人)の性別



##### (2)年齢

どの調査地も30代～40代が多く、両者を合わせておおよそ5割～6割を占めている。刈谷市では20代が約3割と最も多い。

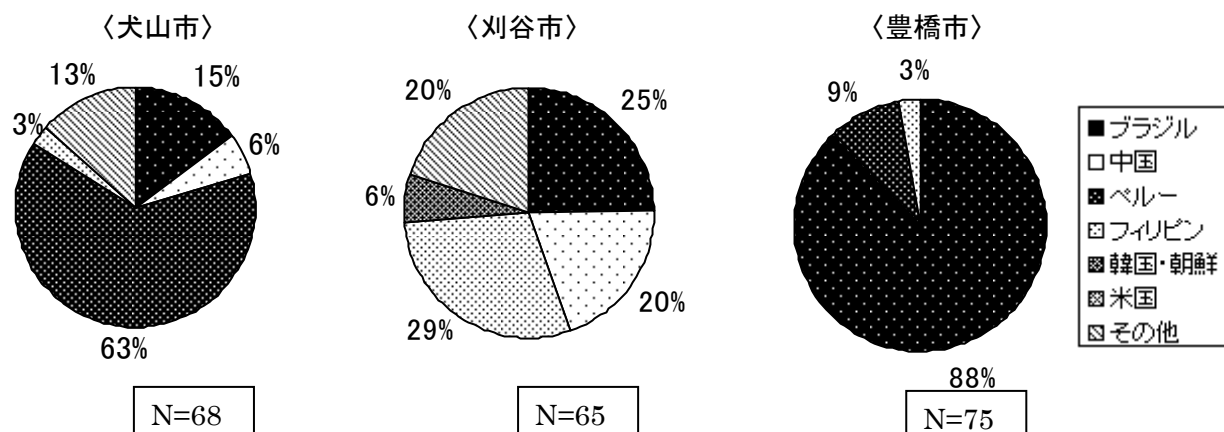
図表 11 回答者(外国人)の年齢



### (3)出身国

犬山市は約 6 割がペルー、豊橋市は約 9 割がブラジルと最多であった。刈谷市はフィリピン、ブラジル、中国がそれぞれ約 2～3 割である。

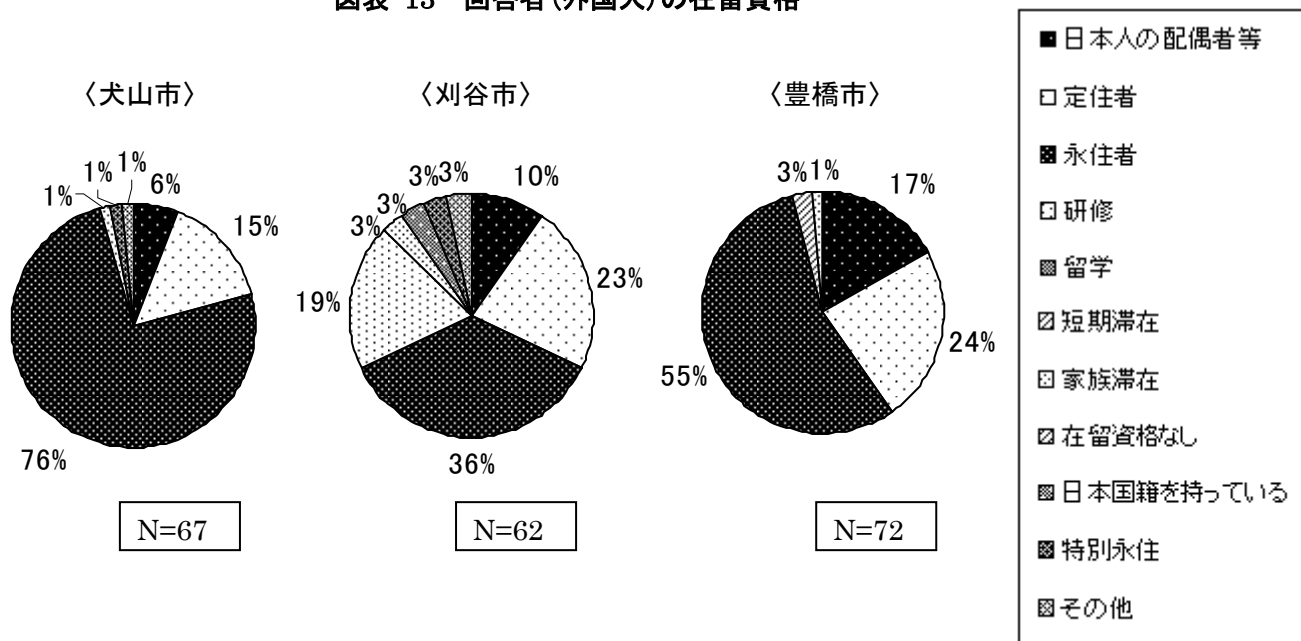
図表 12 回答者(外国人)の出身国



### (4)在留資格

犬山市・豊橋市は永住者の割合が半数以上であるのに対し、刈谷市では永住者が約 4 割、定住者と研修がそれぞれ約 2 割、日本人の配偶者等が約 1 割であった。

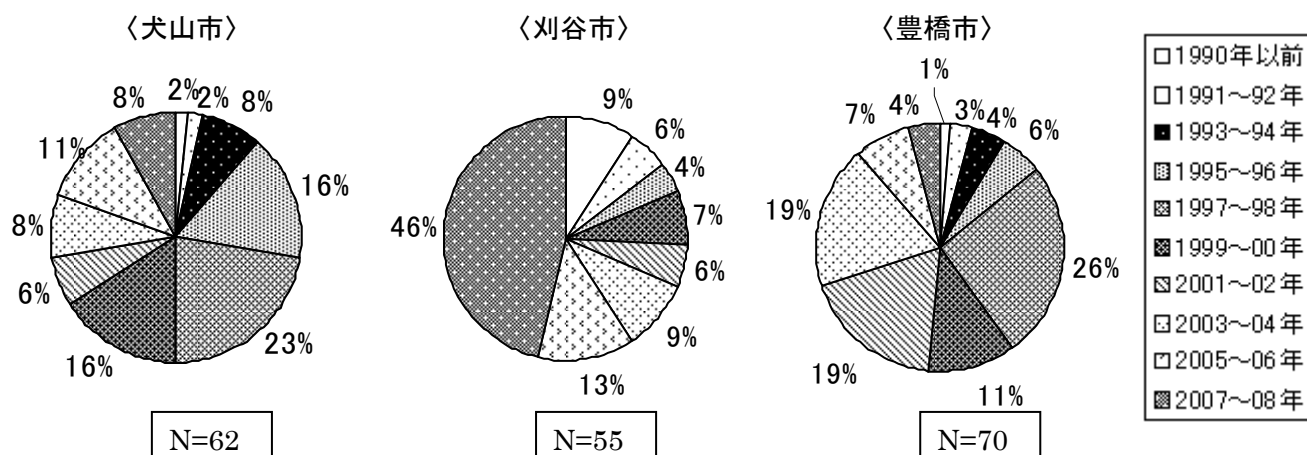
図表 13 回答者(外国人)の在留資格



# (5)居住年数

犬山市と豊橋市は 1997～98 年に調査地に住み始めた外国人住民がもっとも多い。犬山市では 10 年以上前から居住している外国人が約半数である。一方、刈谷市は 2003 年以降に居住を開始した外国人が約 7 割である。

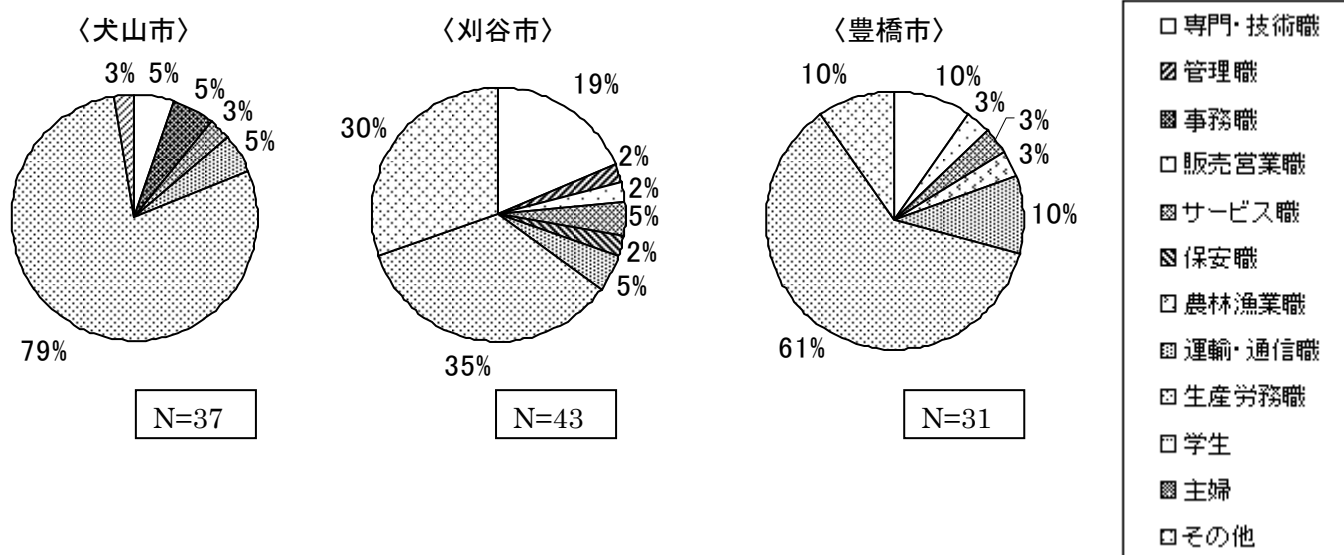
図表 14 回答者(外国人)の居住開始年



# (6)職業

犬山市の約 8 割、豊橋市の約 6 割が「生産労務職」、刈谷市は 35%が「生産労務職」、約 2 割が「専門・技術職」であった。

図表 15 回答者(外国人)の職業



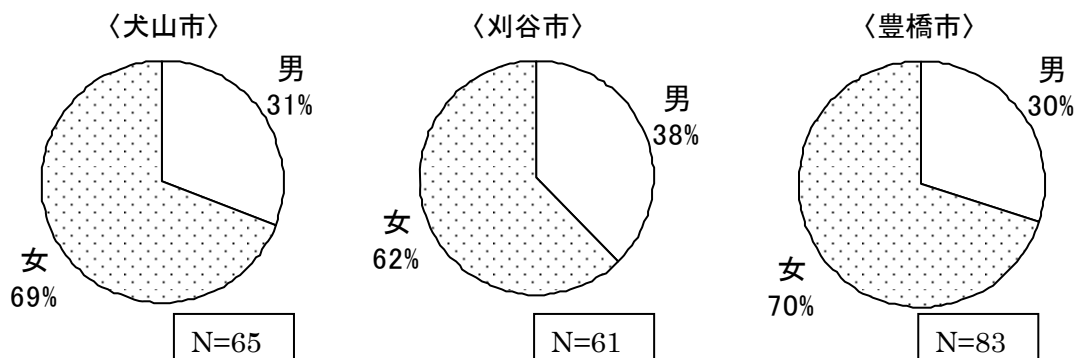
## 第2節 回答者の属性（日本人住民）

性別は、いずれの調査地も女性が7割近くを占める。年齢は50代以上が中心で、居住歴は20年以上という人も多い。職業は、犬山市で「サービス職」が最も多く、刈谷市・豊橋市では「専門・技術職」が約3割を占めている。

### (1)性別

いずれの調査地でも女性の割合が7割近くを占める。

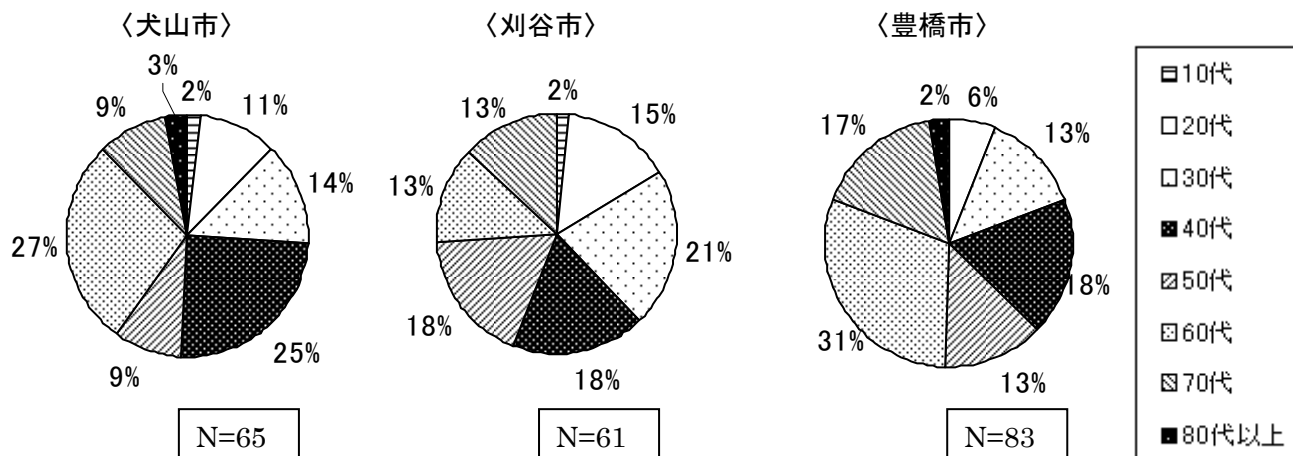
図表 16 回答者(日本人)の性別



### (2)年齢

犬山市と刈谷市の約半数が、豊橋市でも約6割が50代以上である。

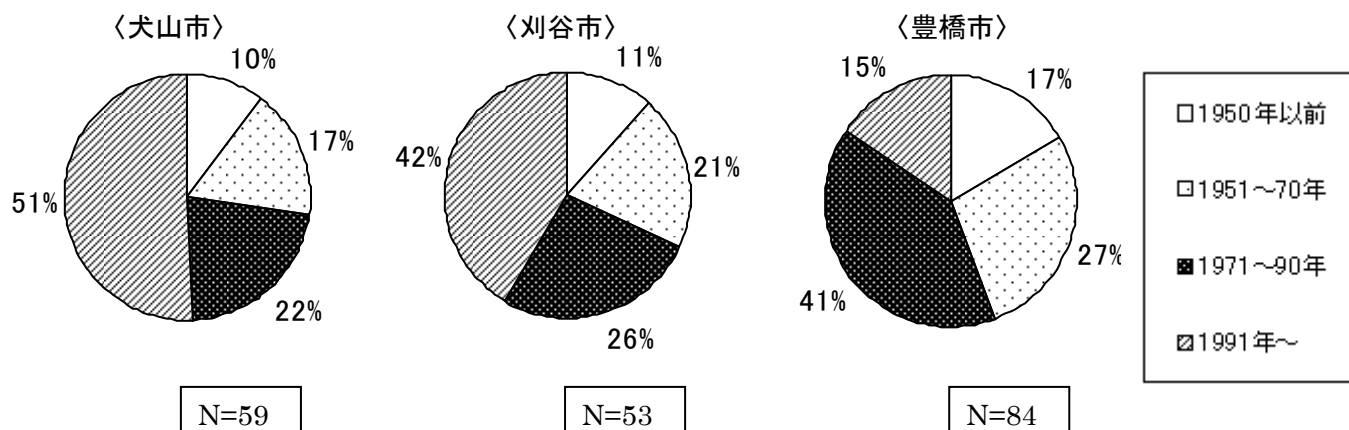
図表 17 回答者(日本人)の年齢



### (3)居住年数

犬山市で約 5 割、刈谷市で約 6 割、豊橋市では 8 割以上が 20 年以上前から調査地に住んでいる。

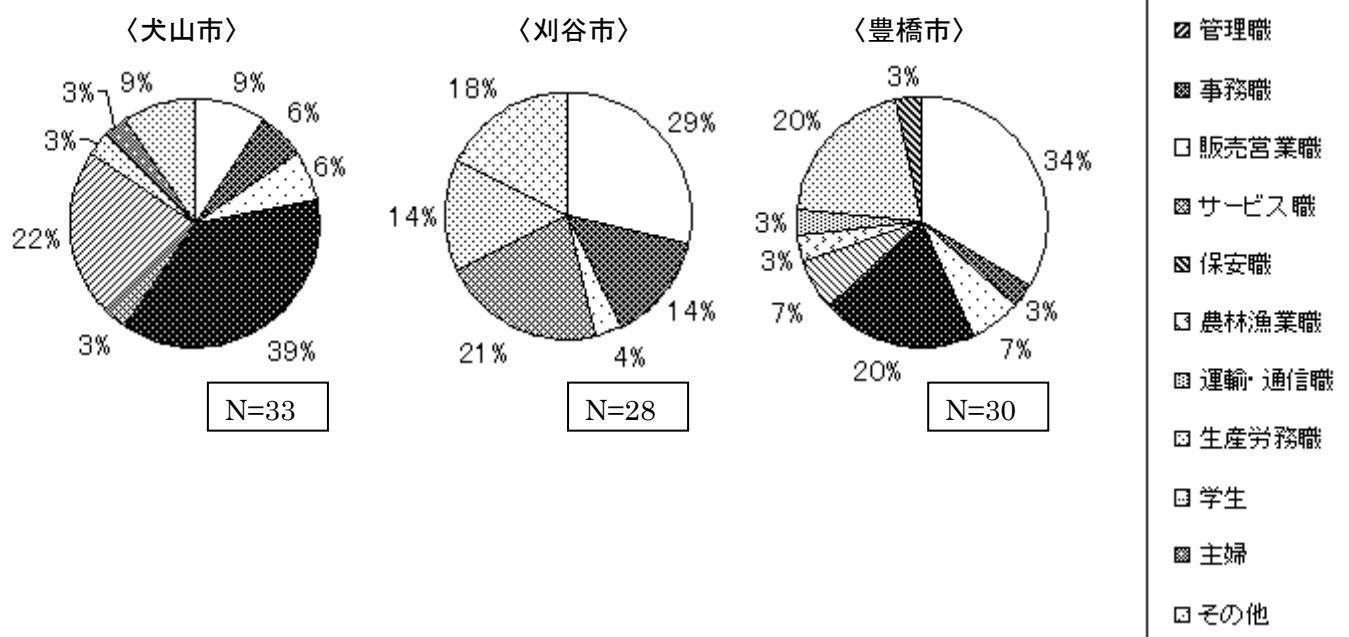
図表 18 回答者(日本人)の居住年数



### (4)職業

犬山市は約 4 割が「サービス職」、約 2 割が「生産労務職」、刈谷市は約 3 割が「専門・技術職」、約 2 割が「サービス職」、豊橋市は約 3 割が「専門・技術職」、2 割が「サービス職」、「生産労務職」であった。

図表 19 回答者(日本人)の職業



## 第4章 外国人住民の情報入手方法について

外国人住民の日常生活に関する情報入手の方法について、ここでは公的機関が発行する情報紙を中心に調べた。いずれの媒体も、外国語版がある場合の閲覧率は約6～7割である。紙媒体（広報紙、ニュースレター）の閲覧率は外国語版の充実度に比例している。

### 第1節 調査結果の概要

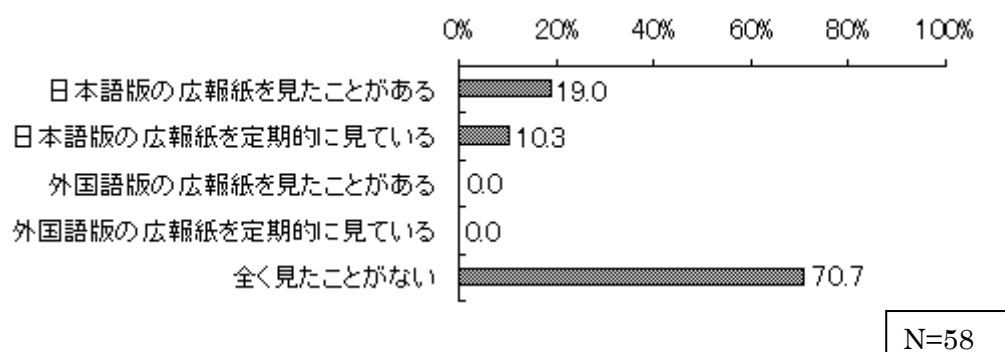
#### (1) 広報紙

#### 質問：市の広報紙を見たことがありますか？（複数回答可）

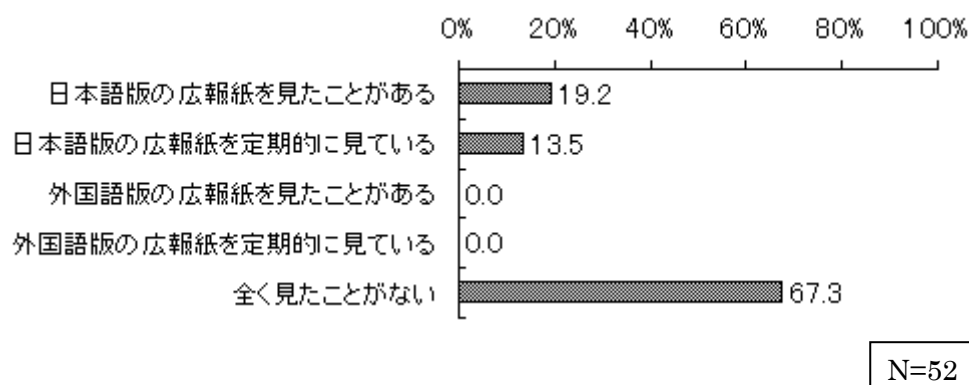
外国語版の広報紙がない犬山市と刈谷市は全体の約7割が、市の広報紙をみたことがないと回答している。広報紙が5ヶ国語に翻訳されている豊橋市は、「見たことがある」「定期的に見ている」と答えた外国人が合わせて全体の8割を超えている。

図表 20 広報紙の閲覧（外国人）

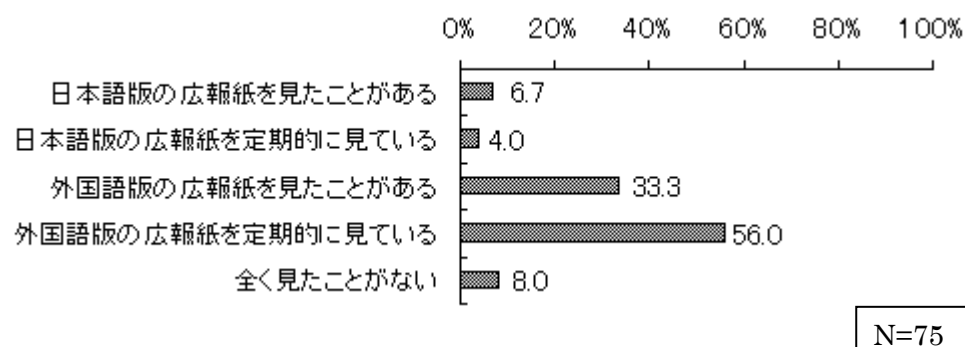
〈犬山市〉



〈刈谷市〉



〈豊橋市〉



※ 犬山市と刈谷市は日本語版のみ。豊橋市は日本語版、ポルトガル語版、英語版、スペイン語版、中国語版（英語版、スペイン語版、中国語版は Web 公開のみ）がある。

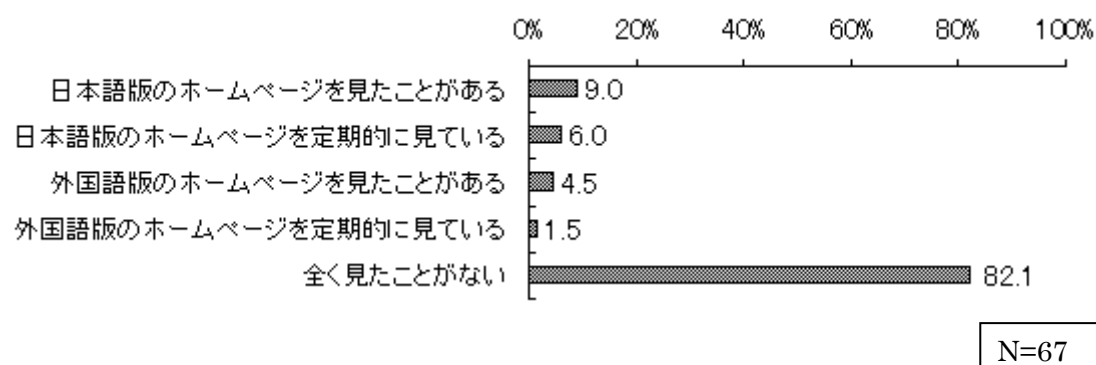
(2)市のホームページ

**質問：市のホームページを見たことがありますか？（複数回答可）**

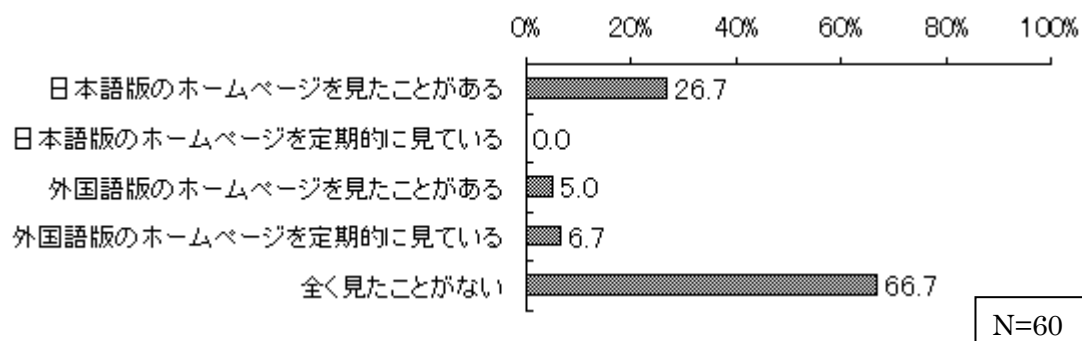
犬山市と豊橋市では約 8 割の外国人住民が市のホームページを「全く見たことがない」と回答している。刈谷市は、この 2 市より閲覧率が高いが、閲覧者の半数以上は日本語版を見ている。

図表 21 市のホームページの閲覧（外国人）

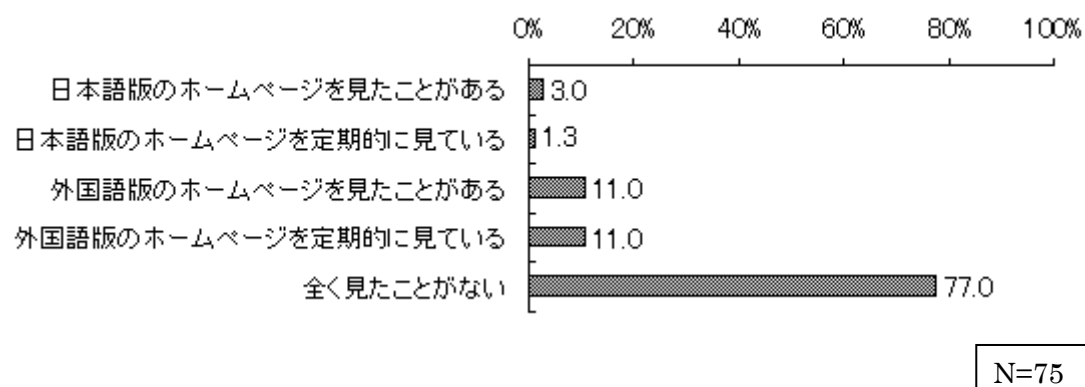
〈犬山市〉



〈刈谷市〉



〈豊橋市〉



※ 犬山市と刈谷市は日本語版と英語版、豊橋市は日本語版、英語版、ポルトガル語版のホームページがある。

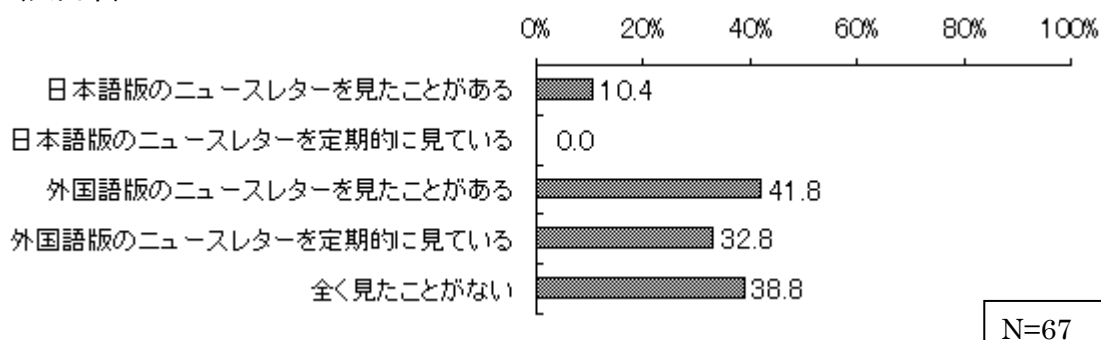
### (3)国際交流協会のニュースレター

#### 質問：国際交流協会のニュースレターを見たことがありますか？（複数回答可）

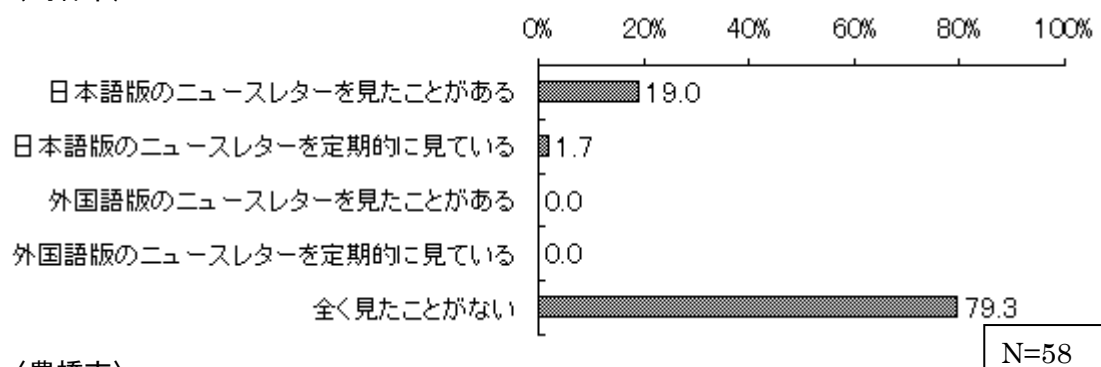
外国語版がある犬山市では約 7 割の外国人住民が外国語版のニュースレターを「見たことがある」もしくは「定期的に見ている」と回答している。一方、外国語版のない刈谷市では約 8 割、豊橋市では約 9 割の外国人が「全く見たことがない」と回答している。

図表 22 ニュースレターの閲覧（外国人）

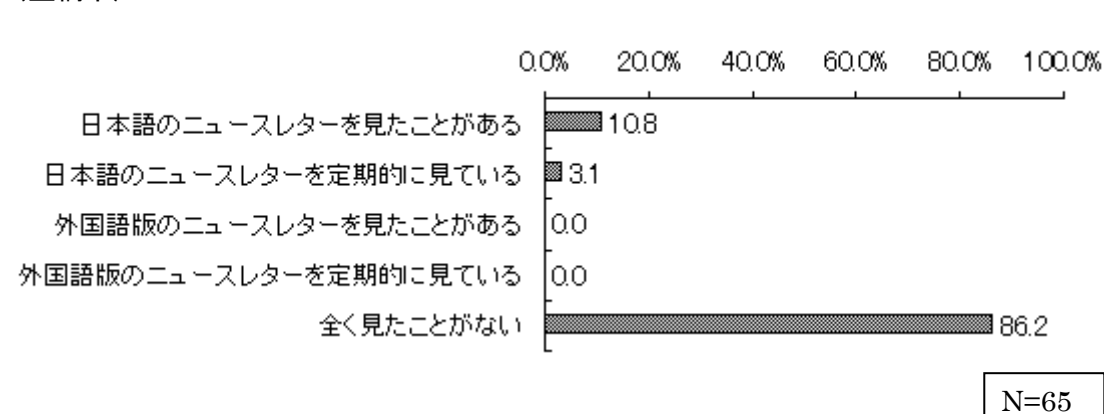
#### 〈犬山市〉



#### 〈刈谷市〉



#### 〈豊橋市〉



※ 犬山市は日本語版、英語版、ポルトガル語版、スペイン語版、中国語版、刈谷市と豊橋市は日本語版のみ。

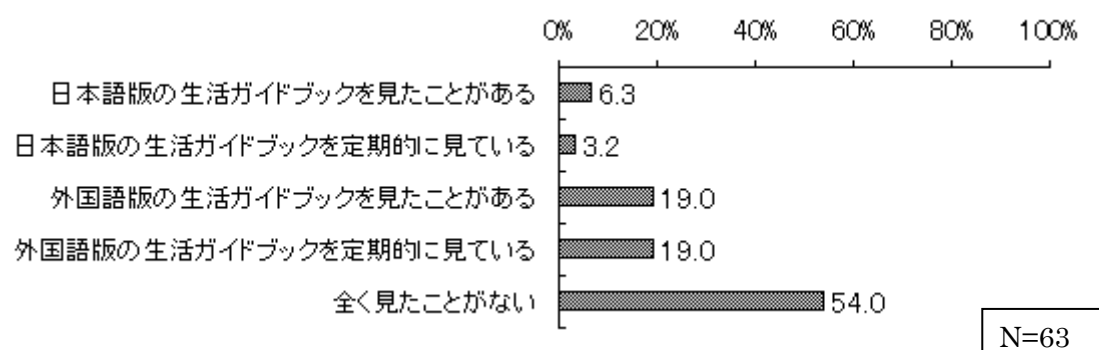
#### (4)生活ガイドブック

##### 質問：生活ガイドブックを見たことがありますか？（複数回答可）

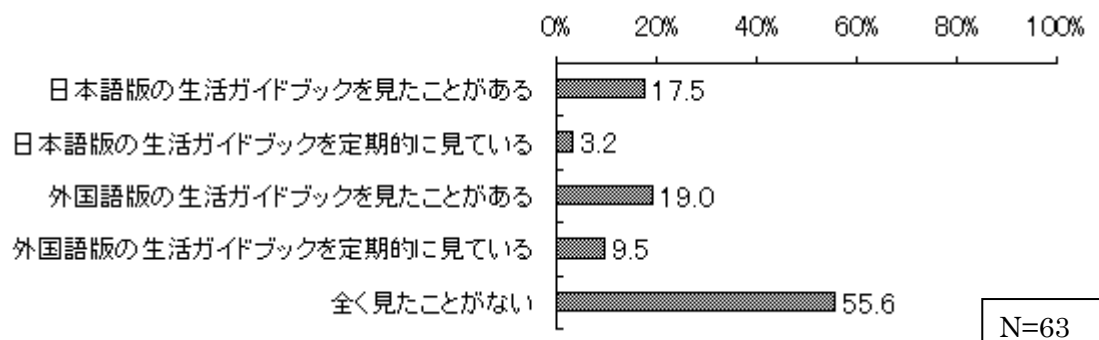
いずれの市も、「全く見たことがない」が約半数を占めた。外国語版があっても、犬山市と刈谷市では2割程度しか見られていなかった。

図表 23 生活ガイドブックの閲覧（外国人）

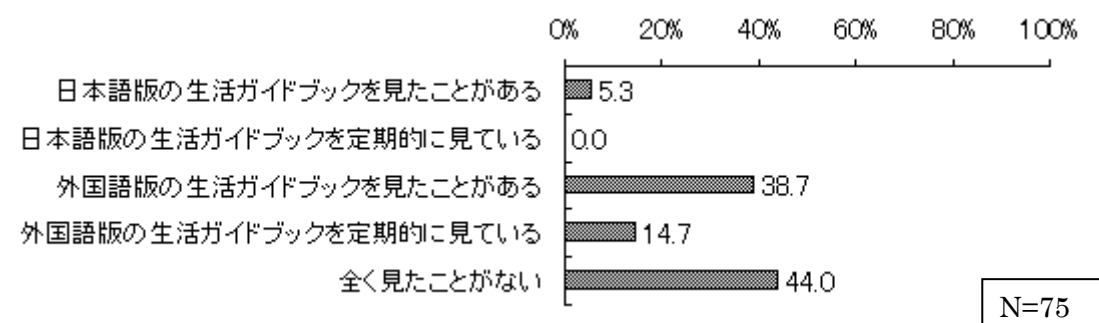
〈犬山市〉



〈刈谷市〉



〈豊橋市〉



※ 犬山市は財団法人愛知県国際交流協会が発行するガイドブック（『愛知生活便利帳』）の日本語版、スペイン語版、中国語版を配布。刈谷市は日本語版、英語版、ポルトガル語版、中国語版がある。豊橋市は日本語版、英語版、ポルトガル語版を配布。

(5)その他の情報入手方法

**質問：他にどこから日常生活に関する情報を得ていますか？（上位3つを選択）**

犬山市と豊橋市では、外国語の新聞や情報誌から情報を入手している外国人住民が多いが、刈谷市では少ない。いずれの市においても「同じ出身国の友達に聞く」と答えた外国人住民の割合は高い。

**図表 24 日常生活に関する情報の入手（外国人）**

〈犬山市〉

(%)

|                     | 第1位  | 第2位  | 第3位  |
|---------------------|------|------|------|
| 日本語の新聞・雑誌           | 12.9 | 5.6  | 2.8  |
| 日本語のウェブサイト          | 3.2  | 5.6  | 2.8  |
| 外国語の新聞・雑誌           | 38.7 | 22.2 | 2.8  |
| 外国語のウェブサイト          | 1.6  | 7.4  | 0.0  |
| 市役所の窓口              | 6.5  | 11.1 | 13.9 |
| 国際交流協会              | 3.2  | 5.6  | 5.6  |
| 同じ出身国の友達から聞く        | 24.2 | 22.2 | 22.2 |
| 日本人の友達から聞く          | 6.5  | 13.0 | 5.6  |
| その他の国の友達から聞く        | 1.6  | 3.7  | 16.7 |
| 教会など自分の属する宗教関連の団体施設 | 1.6  | 1.9  | 19.4 |
| その他 ※               | 0.0  | 1.9  | 8.3  |

※ 不明

〈刈谷市〉

(%)

|                     | 第1位  | 第2位  | 第3位  |
|---------------------|------|------|------|
| 日本語の新聞・雑誌           | 16.0 | 5.1  | 0.0  |
| 日本語のウェブサイト          | 10.0 | 3.4  | 8.3  |
| 外国語の新聞・雑誌           | 16.0 | 3.4  | 0.0  |
| 外国語のウェブサイト          | 2.0  | 1.7  | 12.5 |
| 市役所の窓口              | 10.0 | 6.8  | 0.0  |
| 国際交流協会              | 4.0  | 1.7  | 0.0  |
| 同じ出身国の友達から聞く        | 24.0 | 30.5 | 8.3  |
| 日本人の友達から聞く          | 8.0  | 25.4 | 20.8 |
| その他の国の友達から聞く        | 2.0  | 0.0  | 25.0 |
| 教会など自分の属する宗教関連の団体施設 | 0.0  | 16.9 | 16.7 |
| その他 ※               | 8.0  | 5.1  | 8.3  |

※ TV、インターネット

〈豊橋市〉

(%)

|                     | 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本語の新聞・雑誌           | 14.0  | 3.6   | 12.0  |
| 日本語のウェブサイト          | 0.0   | 1.2   | 4.0   |
| 外国語の新聞・雑誌           | 44.0  | 22.9  | 8.0   |
| 外国語のウェブサイト          | 2.0   | 4.8   | 0.0   |
| 市役所の窓口              | 4.0   | 8.4   | 16.0  |
| 国際交流協会              | 0.0   | 1.2   | 8.0   |
| 同じ出身国の友達から聞く        | 12.0  | 31.3  | 4.0   |
| 日本人の友達から聞く          | 2.0   | 12.0  | 16.0  |
| その他の国の友達から聞く        | 4.0   | 3.6   | 12.0  |
| 教会など自分の属する宗教関連の団体施設 | 4.0   | 7.2   | 16.0  |
| その他 ※               | 14.0  | 3.6   | 4.0   |

※駅、フェスティバル

## インタビューより

〈犬山市〉

- ・いつも日本語だけでくる情報（回覧板）について、コンピューターを使って翻訳されているようですが、読んでみたら何もわかりません。翻訳している人に、間違っていることをだれも教えてあげないのでしょうか。（ペルー／男性／30代）
- ・（市役所や国際交流協会に）通訳がいますから、いろいろな援助を知ることができます。行政も助けてくれます。例えば、学校の給食費を補助してくれます。これはずっと前からあったようですが、私たちは知りませんでした。今いろんなところに通訳がいるおかげで、行政が助けてくれるのを知ることができます。（ペルー／男性／30代）
- ・（市役所や国際交流協会に）通訳の A さんが入ってから、いろいろなことを知ることができました。以前は何も知りませんでした。A さんが入ってから、市役所が外国人のためにも与えてくれている援助について知ることができました。（ペルー／男性／30代）
- ・（翻訳されたお知らせについて）確かに正しいスペイン語ではなく、ときどき理解することができません。でも彼らはがんばって私たちに理解させようとしているのです。（ボリビア／女性／20代）
- ・日本人もいろんなお知らせを翻訳するため、自ら手を挙げていました。私は、翻訳されたお知らせを見たとき、たぶんもっと上手に翻訳できる人がいると思いました。でも、もうすでにやってくれている人がいるから何も言えないですね。自治会の会議で、ある日本人が自主的に翻訳をやると言ってくれました。できれば私もやってみたかったのですが、先にその人が手を挙げたので諦めました。また私が思うには、日本の学校に通って日本語を理解できる若者がいます。でも彼らはこういうことに興味がなく黙ってい

ます。(ペルー／男性／30代)

- ・犬山では、外国人が情報を得ることができる場所はフロイデだけです。今はそれだけしか知りません。(ブラジル／男性／40代)

<刈谷市>

- ・刈谷市には日本語教室があつて、日本に来たばかりのとき友達と一緒に通っていましたが、最近は行っていません。日本語教室の先生が今週末に何かイベントがあるとか教えてくれましたが、(教室に) 行っていないとわからないですね。(中国／男性／20代)
- ・フィリピンのお店に、広告をはるのはいいと思います。(フィリピン／男性／20代)

<豊橋市>

- ・回覧版の情報はほとんど翻訳されていません。大切な情報だと思いますが、私たちは何を書いてあるかわかりません。唯一翻訳しているのは、ゴミのことです。見るだけ見て、次へ回します。(ブラジル／女性／30代)
- ・(餅つき大会について) 清掃活動に出た息子が知ったのです。私は何のお知らせも見たことがありませんでした。当日になってそのイベントがあるのを知りました。すべての階にお知らせが貼ってあったらしいのですが、気づきませんでした。(ペルー／女性／40代)
- ・私が子ども会の役員をやっていたとき、私たちはみんなが参加できるようにお知らせを2ヶ国語(日本語／ポルトガル語)に翻訳していました。そして、一人ひとりの部屋を訪ねて「この日はみんな集まるよ」と伝えていました。(ペルー／女性／40代)
- ・広報や回覧版の情報でいちばん大切なこと、例えば、いつ自転車の片付けがあるかなどは日本語で書いてあります。私は、その当日トラックで自転車が運ばれる様子を見て、書かれていたことが何を指していたのかに気づきます。(ブラジル／女性／30代)
- ・私は、いつも届く情報は2ヶ国語(日本語／ポルトガル語)でくるべきだと思います。もし回覧板が翻訳されていたら、そこに書かれている運動会やお祭りにみんな参加するようになると思います。日本に来たばかりの人や、まだ読むことができない人もそこに参加したいかもしれません。(ペルー／女性／40代)
- ・日本人がルールを伝えたいのに、私たちが日本語がわからないので、彼らの気分を害すことがあります。私たちが唯一コンタクトがあるのは、国際交流協会です。私たちに情報を伝えてくれます。(ブラジル／女性／30代)
- ・スペイン語ではなくても、ポルトガル語でも本当に助かります。3ヶ国語の翻訳を要求するのはちょっと厳しいですからね。日本語とポルトガル語の2ヶ国語にしてくれるだけで、情報を得るための大きな助けになります。(ペルー／女性／40代)
- ・年間行事予定表があるので、これからやる事はちゃんとわかっていると思います。ですが、たくさんの外国人はそれを知りません。私は、子ども会の活動に参加したり、公園や映画館に行ったりもしました。お知らせはすべて日本語でしたので、私は外国人の家族に声をかけました。そうしたらみんな子どもを参加させました。ですから、情報を彼

らの母語で伝えたら参加すると思います。(ペルー／女性／40代)

- ・自治会のお知らせで翻訳されたものならば、お金を払わなければならないと思います。市役所には翻訳をする人がいます。でも、自治会にはそういう人がいません。翻訳を手伝う人がいればいいのですが。私たちにくる情報が、すべて細かいことまで翻訳されている必要はなく、何が起きているか内容を理解できるぐらいでよいです。(ブラジル／男性／30代)
- ・自治会が会費を集め会を運営しているのですが、そのお金の使い方の内訳が、一年に一回しか知ることができません。しかも、日本語でしか記載されていません。(ブラジル／男性／30代)
- ・団地に関する情報をもらっていますが、すべて日本語なので読めません。(自治会の)リーダーがだれなのかがわからず、電話することもできません。例えば、集会場を使うためには自治会の担当者に聞かなければならないのですが、担当者がわからないので連絡することができません。(ブラジル／男性／30代)
- ・広報やニュースレターにある外国人向けの情報を、きちんと説明することが必要だと思います。簡単な日本語や母国語で書いてあればいいです。たくさんあると時間がかかって読めないの、少しずつお知らせが届くといいと思います。(ブラジル／男性／30代)
- ・私がまず求めるものは情報です。どうすれば、そしてだれに頼めば、必要な情報が得られるのでしょうか。ここでは何もかもが別々になってるようです。(ペルー／女性／30代)
- ・情報発信だけではなく、交流会等を企画すればいいと思います。また、外国人住民もいっしょになって、団地の中の決まりごとを考え直せたらいいと思います。(ブラジル／男性／30代)
- ・ここでは、何かがあるとき大体だれかが声を掛けてくれるので、情報を得ることができます。(ペルー／女性／40代)
- ・回覧板などのお知らせは、ここに来たときからポルトガル語に翻訳されていました。そのため、ここのルールの理解には困りませんでした。(ブラジル／男性／40代)

※豊橋市では調査地の中に複数の自治会があり、翻訳される言語・頻度・内容の対応が異なっているため、意見の相違がみられる。

## 第2節 分析と考察

各情報媒体（ホームページ、広報紙、ニュースレター、生活ガイドブック）の閲覧率は、対応言語と密接な関わりがあった。それぞれの媒体に外国語版があるかどうかで、閲覧率が大きく変わる。理解言語（母語でなくとも十分に理解が可能な言語）に翻訳されていない情報源へのアクセス率は低く、また多言語化されている場合でもその存在自体が知られていなければ当然アクセスされない。さらに豊橋市では、中国語版・スペイン語版の広報紙が市のホームページ上にアップされ、自由に閲覧／ダウンロードできるようになっているが、市のホームページ自体が中国語・スペイン語に対応していないため、入手したい情報源にたどり着くのは難しいと思われる。

図表 25 外国人登録者数上位5か国の母語と媒体別対応言語

| 調査地 | 上位5か国の<br>理解言語*                                                                     | 市のHP         | 広報紙                          | 生活<br>ガイドブック        | 国際交流協会<br>ニュースレター            |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------------------------|---------------------|------------------------------|
| 犬山市 | 1. 英語 (27%)<br>2. スペイン語 (21%)<br>3. 中国語 (15%)<br>4. ポルトガル語 (14%)<br>5. インドネシア語 (2%) | 英語           | (日本語のみ)                      | スペイン語<br>中国語        | 英語<br>スペイン語<br>中国語<br>ポルトガル語 |
| 刈谷市 | 1. ポルトガル語 (36%)<br>2. 中国語 (23%)<br>3. 英語 (16%)<br>4. ベトナム語 (4%)<br>5. スペイン語 (2%)    | 英語           | (日本語のみ)                      | ポルトガル語<br>中国語<br>英語 | (日本語のみ)                      |
| 豊橋市 | 1. ポルトガル語 (62%)<br>2. 英語 (9%)<br>3. 中国語 (8%)<br>4. スペイン語 (5%)<br>5. インドネシア語 (1%)    | ポルトガル語<br>英語 | ポルトガル語<br>英語<br>中国語<br>スペイン語 | ポルトガル語<br>英語        | (日本語のみ)                      |

\* ( %) は、全言語に対する割合を示す。なお、フィリピンは本国の公的文書が英語であることから、タガログ／フィリピン語ではなく英語とした。

情報を入手する側がそこにアクセスしなければならないもの（ホームページや特定の場所に設置された紙媒体のもの）よりも、情報の発信側から受け手側に送られるもの（広報紙やニュースレター）のほうが閲覧率が高いことがわかった。ただし、今回の調査では、広報紙の設置場所や配布方法等どのような形で情報発信がなされているのかまでは明らかにできなかったため今後の課題としたい。また、犬山市と豊橋市では日常生活に関する情

報を「外国語の新聞・雑誌」から入手する人が最も多く、さらに 3 市に共通して「同じ出身国の友達から聞く」と答えた人も多かったことから、外国人コミュニティ内での情報交換も重要なメディアになっているといえる。

なお、刈谷市で「外国語で書かれた新聞・雑誌」を重要な情報の入手先としてあげた外国人住民の割合が、他の 2 市と比べてかなり少なかった。犬山市・豊橋市に比べ飲食店や輸入雑貨店など外国人の集まる場所の少ない刈谷市では、そうした物を入手しづらい環境にあることが要因になっているのであろう。ただし、今回は市のホームページや広報紙を「見ていない」理由を明らかにできなかったため、今後の課題としたい。

また、インタビュー調査の結果から「(注意事項などは翻訳されているが) お祭りや地域行事、コンサート等の娯楽イベントに関する情報は日本語のみで、参加したくてもしにくい」など受け手が必要としている情報と、送り手が発信している情報との間にギャップがあることがわかった。また、web 翻訳ツール(インターネット上の自動翻訳システム)を利用して翻訳されたものが、受け手にとって理解しがたいものになってしまっているというケースも確認された。正しい情報を適切な形で提供／入手できるようにするには、こうした問題の改善が必要である。

### 第 3 節 今後の取り組み提案

---

本調査結果をふまえ、情報提供に関して以下のような取り組みを提案したい。

- 提案 1. 情報の多言語化とその周知
- 提案 2. 発信媒体の多様化と発信方法の改善
- 提案 3. 翻訳内容と翻訳方法の検討

#### 提案 1. 情報の多言語化とその周知

まず、住民に知らせたい情報や、住民が知りたいと思う情報については、情報源までの経路も含め、可能な限りその住民の理解言語に対応するよう翻訳されていることが必要である。また、市のホームページや広報紙等が多言語化されていることを外国人住民に、その人が理解可能な形で伝えられていることも重要である。

#### 提案 2. 発信媒体の多様化と発信方法の改善

発信媒体として携帯メールやパソコンの e-mail (メールマガジン等) を利用すること、紙媒体のものは外国語の新聞・雑誌等を設置・販売している店舗や宗教施設等、外国人住民がよく利用するところにも設置することで閲覧率が高まると考えられる。さらに、そうした情報を正しく理解し、周囲に広めてくれるような人(自治会役員、PTA、日本語教室等さまざまな地域コミュニティ・市民活動に関わっている人)とつながりを持ち、必要に応じて情報共有・意見交換ができる関係を築いておくことや、簡単な通訳・翻訳のできる人

材を育成しておくことも重要である。

### 提案 3. 翻訳内容と翻訳方法の検討

自治体や国際交流協会等情報の送り手は、受け手のニーズの把握に努めること、web 翻訳ツールを利用する際には翻訳した内容が相手に理解可能なものか、誤解がないかを確認した上で広報することが必要である。

以上により、送り手はより多くの人により適切な形で情報を伝えることができ、受け手にとっても必要な情報を理解可能な形で入手できるようになるだろう。情報提供・情報入手が効果的に行われることは、住民が地域社会のルールやマナーを守り、安全・安心かつ豊かに日常生活を送るために欠かせないものであるため、より多くの外国人住民に正確な情報が伝わるよう重点施策の一つとして取り組まれることを期待する。

## 第5章 外国人住民・日本人住民の交流について

日本人の友人がいる外国人は全体の約 8 割を占めたのに対し、外国人の友人がいる日本人は 3 割前後であった。また、つきあいの程度は、いずれの市においても、「外で会ったときに立ち話をする」と答えた人が最も多かった。

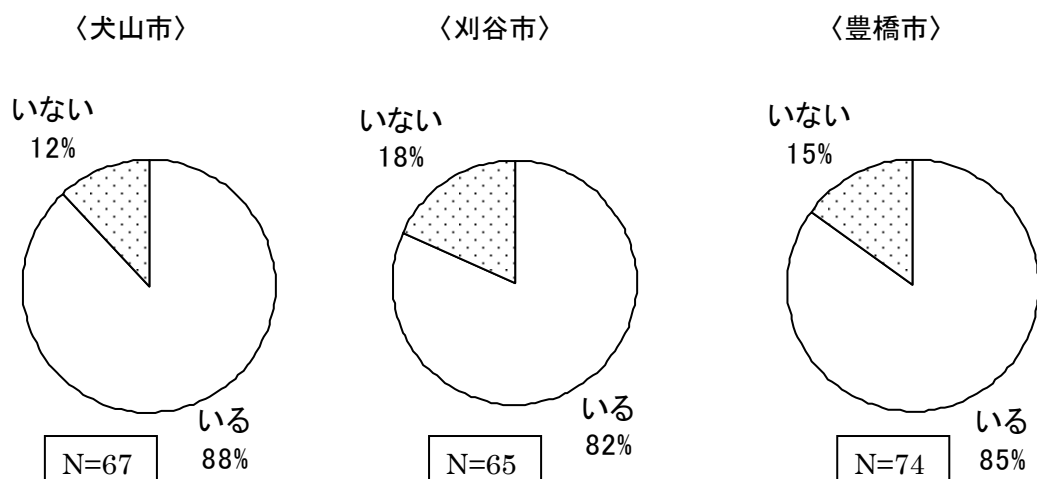
### 第1節 調査結果の概要

#### (1)日本人とのつきあい（外国人）

#### 質問：日本人の友達はいますか？

日本人の友達がいる外国人住民、いずれも 8 割程度であった。

図表 26 日本人の友達の有無（外国人）

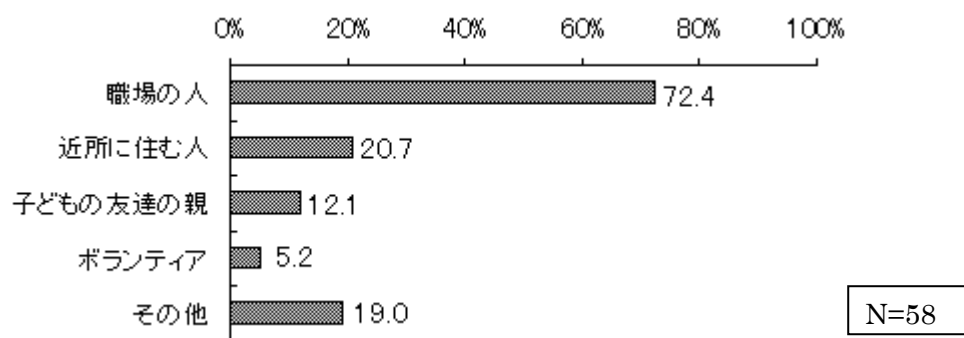


#### 質問：（日本人の友達が）いる、と答えた方にお聞きします。それはどんな人ですか？（複数回答可）

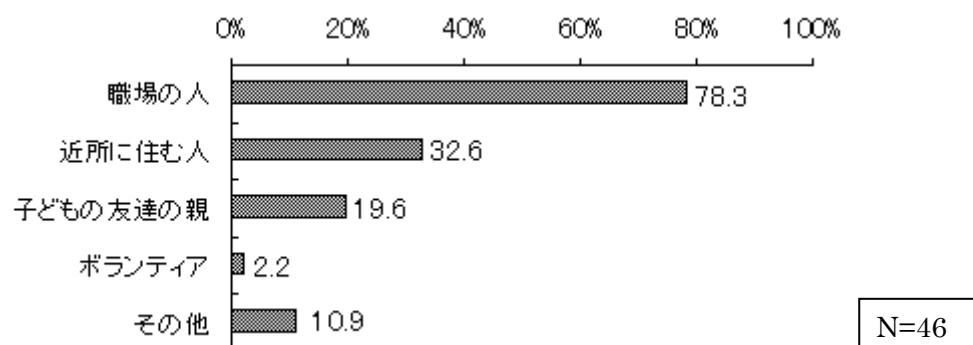
いずれの市においても「職場」と回答した人が 7 割を超えている。「近所に住む人」と答えた人は、犬山市で約 2 割、刈谷市では約 3 割、豊橋市では約 5 割であった。

〈犬山市〉

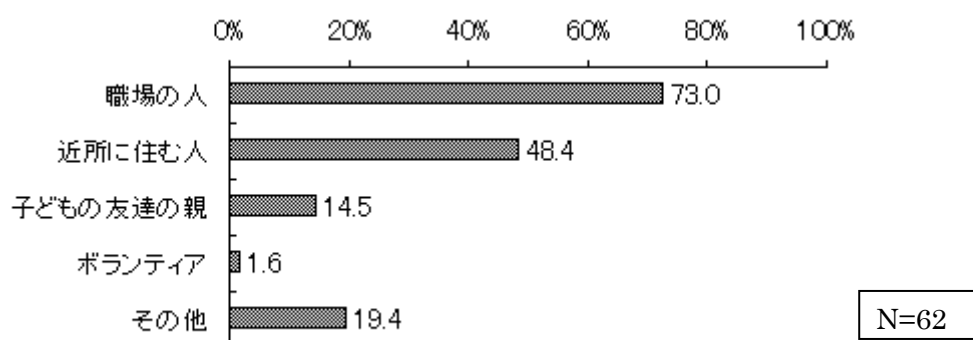
図表 27 日本人の友達の種類（外国人）



〈刈谷市〉



〈豊橋市〉

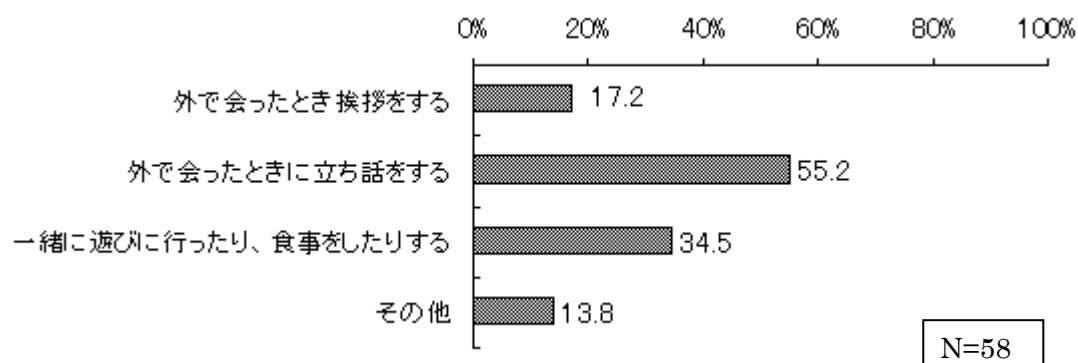


**質問：（日本人の友達が）いる、と答えた方にお聞きします。おつきあいはどの程度ですか？（複数回答可）**

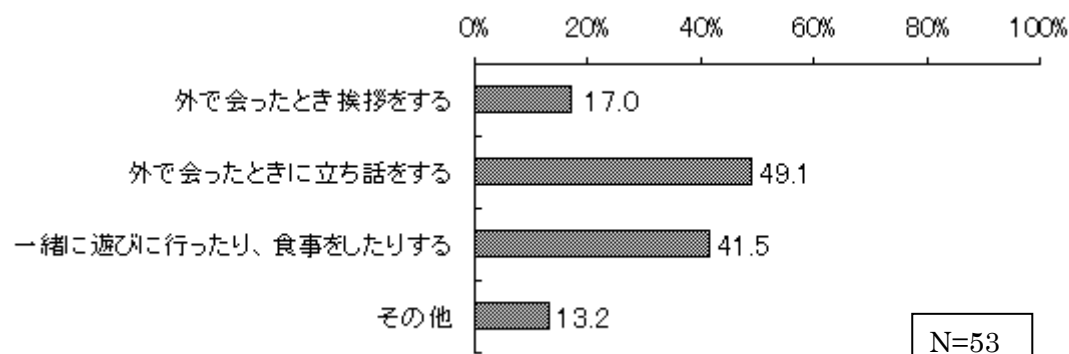
いずれの市においても、「外で会ったときに立ち話をする」が半数近くを占める。刈谷市では「一緒に遊びに行ったり、食事をしたりする」が4割程度であった。

**図表 28 日本人とのつきあいの程度**

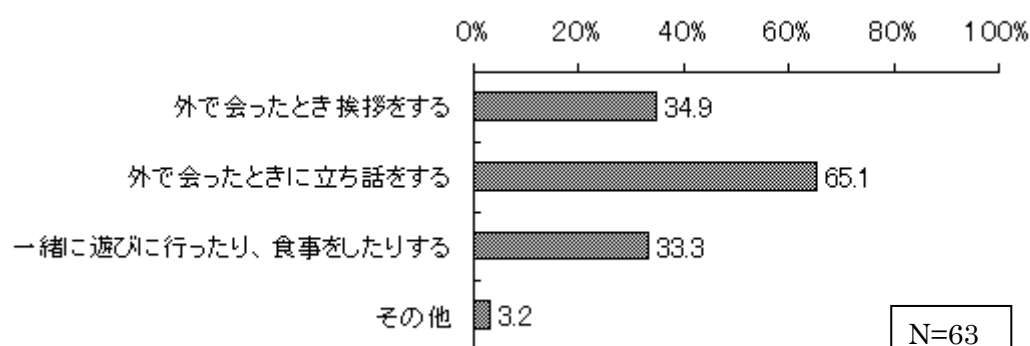
〈犬山市〉



〈刈谷市〉



〈豊橋市〉



インタビューより

〈犬山市〉

- ・日本人の友達があります。とても優しくて根気のある方で、いつも助けてくれます。自分ではわからない書類があれば、それを彼女に見せて読むのを手伝ってもらっています。(ペルー／男性／30代)
- ・外国人が日本人とコミュニケーションをとらないことや、日本人がすぐに「悪いことが起きるのは外国人のせいだ」と思うことを変えてもらわなければなりません、その方法が思いつきません。(アルゼンチン／女性／30代)
- ・日本人からのコミュニケーション不足。あんまりコミュニケーションを取らないですね。話し掛けられる時は何かを注意する時だけです。(ペルー／男性／40代)

〈刈谷市〉

- ・日本人の友達はいませんが、仕事で会って話をするだけです。(フィリピン／男性／20代)
- ・職場に何人か日本人の友達があります。いつも一緒に旅行したり、ボウリングをしたりします。(中国／男性／20代)
- ・どうやったら日本人と知り合えるんでしょうか。(フィリピン／男性／20代)

〈豊橋市〉

- ・私は月曜から土曜まで仕事をして、日曜日は家で休みます。そのため、これまで外に出

かけたり、(地域活動に) 参加したりすることは難しかったです。普段は、日本人だけではなく外国人同士もお互いに距離を置いているようにみえます。それでは仲良くできません。(ブラジル／男性／50 代)

## (2)相談相手（外国人）

**質問：悩み事や問題があった場合、誰に相談していますか？よく相談する順に3つ選んで下さい。**

いずれの市においても「日本に住んでいる家族や親族」を相談相手としてあげた外国人住民の割合がもっとも高い。刈谷市では、「本国に住んでいる家族」「職場の日本人」の割合が他の2市に比べて高い。

図表 29 相談する相手

〈犬山市〉

(%)

|                           | 第1位  | 第2位  | 第3位  |
|---------------------------|------|------|------|
| 日本に住んでいる家族や親族             | 70.8 | 11.1 | 3.4  |
| 本国に住んでいる家族や親族             | 3.1  | 15.6 | 10.3 |
| 同じ国出身の友達                  | 3.1  | 33.3 | 17.2 |
| 職場の日本人                    | 1.5  | 4.4  | 20.7 |
| 職場以外で知り合った日本人             | 4.6  | 4.4  | 3.4  |
| 町内会長や組長など住んでいる地域の日本人のリーダー | 1.5  | 2.2  | 0.0  |
| 犬山市役所                     | 7.7  | 13.3 | 13.8 |
| 犬山国際交流協会                  | 0.0  | 2.2  | 6.9  |
| 財団法人愛知県国際交流協会             | 1.5  | 0.0  | 0.0  |
| 市役所・市国際交流協会以外の行政の相談窓口     | 0.0  | 2.2  | 0.0  |
| その他の行政の相談窓口               | 0.0  | 2.2  | 0.0  |
| 日本人のボランティア団体              | 0.0  | 2.2  | 3.4  |
| 同じ出身国の人を作る団体やそのリーダー       | 0.0  | 2.2  | 6.9  |
| その他 ※                     | 6.2  | 4.4  | 13.8 |

※教会の牧師、ハローワーク、相談しない

〈刈谷市〉

(%)

|                           | 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 |
|---------------------------|-------|-------|-------|
| 日本に住んでいる家族や親族             | 41.8  | 15.9  | 0.0   |
| 本国に住んでいる家族や親族             | 14.5  | 36.4  | 12.0  |
| 同じ国出身の友達                  | 10.9  | 18.2  | 20.0  |
| 職場の日本人                    | 9.1   | 11.4  | 20.0  |
| 職場以外で知り合った日本人             | 3.6   | 6.8   | 8.0   |
| 町内会長や組長など住んでいる地域の日本人のリーダー | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 刈谷市役所                     | 12.7  | 4.5   | 24.0  |
| 刈谷市国際交流協会                 | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 財団法人愛知県国際交流協会             | 0.0   | 2.3   | 0.0   |
| 市役所・市国際交流協会以外の行政の相談窓口     | 1.8   | 2.3   | 4.0   |
| その他の行政の相談窓口               | 1.8   | 0.0   | 0.0   |
| 日本人のボランティア団体              | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 同じ出身国の人を作る団体やそのリーダー       | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| その他 ※                     | 3.6   | 2.3   | 12.0  |

※ エージェント(代理人)、ハローワーク、他国から日本に来ている友達

〈豊橋市〉

(%)

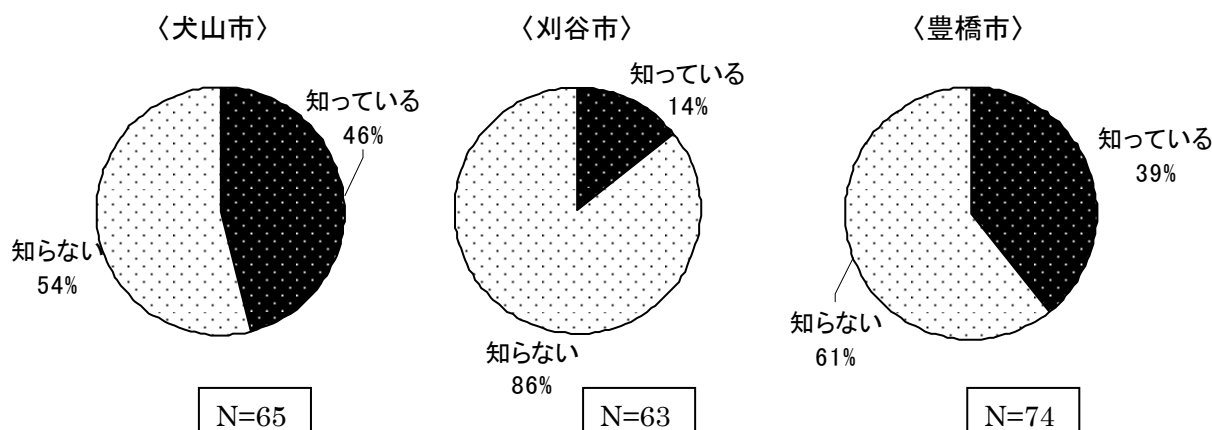
|                           | 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 |
|---------------------------|-------|-------|-------|
| 日本に住んでいる家族や親族             | 50.9  | 15.6  | 4.3   |
| 本国に住んでいる家族や親族             | 8.8   | 14.3  | 13.0  |
| 同じ国出身の友達                  | 10.5  | 27.3  | 13.0  |
| 職場の日本人                    | 0.0   | 6.5   | 17.4  |
| 職場以外で知り合った日本人             | 0.0   | 1.3   | 8.7   |
| 町内会長や組長など住んでいる地域の日本人のリーダー | 1.8   | 2.6   | 0.0   |
| 豊橋市役所                     | 17.5  | 16.9  | 30.4  |
| 財団法人豊橋市国際交流協会             | 0.0   | 2.6   | 0.0   |
| 財団法人愛知県国際交流協会             | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 市役所・市国際交流協会以外の行政の相談窓口     | 1.8   | 1.3   | 0.0   |
| その他の行政の相談窓口               | 0.0   | 1.3   | 0.0   |
| 日本人のボランティア団体              | 0.0   | 1.3   | 0.0   |
| 同じ出身国の人を作る団体やそのリーダー       | 0.0   | 2.6   | 8.7   |
| その他 ※                     | 8.8   | 6.5   | 4.3   |

※ 教会の牧師、ハローワーク、聖書、小学校、相談しない

**質問：同じ出身国の人たちで作る支援団体や、その団体のリーダーを知っていますか？**

いずれの市においても、半数以上が「知らない」と回答している。

**図表 30 外国人自助組織の認知度**



※今回のアンケート調査では犬山市で3団体、刈谷市で1団体、豊橋市で4団体の自助組織の名前があがっている。

### インタビューより

#### 〈犬山市〉

- ・ 聞く友達は年の近い人や友達と言うよりも、近所の人です。年は関係なく、よく知っている日本人がいるので、聞いたりしています。(ペルー／男性／10代)
- ・ 今、市役所には通訳のAさんがいます。何か分からないことがあったとき、彼女はいつも助けてくれるので私はとてもうれしいです。(ペルー／女性／30代)
- ・ ある外国人自助組織に、不況の時たくさん助けてもらいました。助けを必要としている人のために食糧を配っていて、私たちもそれをもらいました。(ペルー／男性／40代)
- ・ 何度も、ある組織のイベントに参加したことがあります。(ペルー／女性／30代)

#### 〈刈谷市〉

- ・ 中国人の友達がたくさんいます。今住んでいるところには会社の先輩と同僚がいて、ほぼ毎日中国語を話していますが、もっと日本人とコミュニケーションがとりたいと思います。(中国／男性／20代)
- ・ ブラジル人をあまり見たことがありません。隣のアパートに住んでいましたが、2年前にブラジルに帰国しました。ブラジル人の組織は本当に見たことがありません。(ブラジル／男性／40代)

〈豊橋市〉

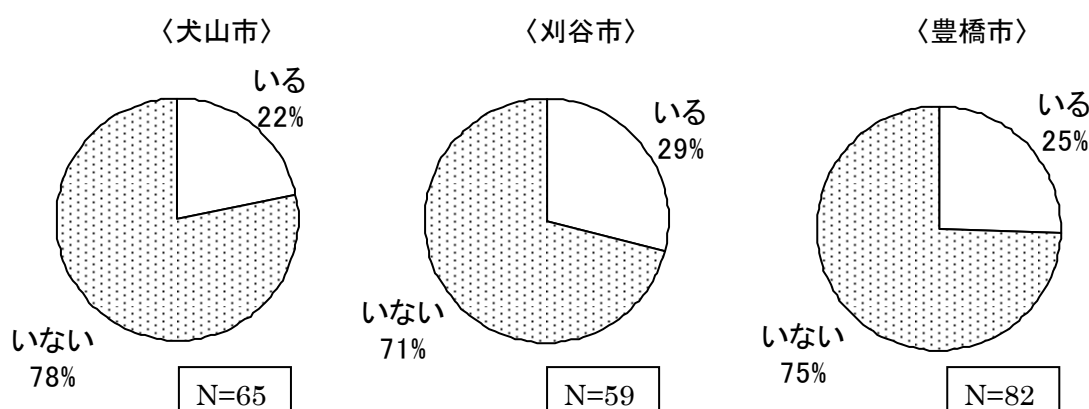
- ・地元の外国人自助組織に参加しています。設立して2年ほど経ちました。この2年間は、主にクリスマスや母の日などいろいろなイベントをやってきました。毎回、集会にも参加しています。（ペルー／女性／30代）
- ・教会の支援活動グループに参加しています。教会では寄付による食糧や物品を集めて配ったり、求職活動やさまざまな情報収集など失業者の支援もしています。（ブラジル／男性／40代）
- ・家を訪ねて、（自治会の）参加者がもっと増えるように説得するのはどうでしょう。ただ回覧板を回すだけでは難しいと思います。それだけだと、冷たい印象を受けます。家を訪ねると印象が暖かくなるし、話も違ってきます。会話の中で約束すると、キャンセルしにくいものです。（ブラジル／男性／50代）

(3)外国人とのつきあい（日本人）

質問：市内に住む外国人の友達はいますか？

外国人の友達がいる割合は、どの地域も約2～3割であった。

図表 31 外国人の友達の有無（日本人）



**質問：市内に住む外国人住民とおつきあいをする機会がありますか？**

(複数回答可)

犬山市と豊橋市では、約 6 割が「外で会ったときに挨拶をする」と答えた。刈谷市では外国人住民とつきあう機会が「まったくない」と答えた人の割合が最も高く、他の 2 市と比べて「外国人との交流イベントやボランティア活動に参加している」人も多かった。

**図表 32 外国人とのつきあいの程度**

